

## 7/25(火)-26(水)インド・ハリヤナ州 農業大臣他7名が 高知県の食・農業事業を視察！



国際協力機構（JICA）は、7/23（日）～8/1（火）にかけて、インド・ハリヤナ州の農業大臣及び州政府関係者を含む計8名を招へいし、インド総領事館同行の下、日本各地で行われている先進的な農業生産、加工、流通現場の視察事業を行います。高知県には、7/25（火）-26（水）の2日間の滞在予定であり、高知県庁（副知事表敬、農業振興部ご講義）、高知大学（理事講義）、ショウガ生産・加工企業、耕作関連機器メーカー、とさのさと、流通事業者等の視察、意見交換を行います。

インドにおいて農業は GDP の 14.6% を占め、かつ雇用の 6 割を担う重要産業であり、世界的に見て主要な食料生産・輸出国です。また、高知県の名産ショウガの世界一の生産量を誇ります。ハリヤナ州は、農業の近代化・大規模化が進み、現在では国内でも有数の穀倉地帯であり、インド全国の穀物の約 15% を生産するなど農業が主要産業です。

他方、ハリヤナ州は約 6 割の地域で地下水枯渇のリスクが非常に高く、コメを中心とした穀物生産における過剰揚水が近年大きな課題となっているところ、水利用量が相対的に多く環境負荷の大きい穀物栽培から、環境負荷の小さい野菜や果樹等の園芸作物栽培への転換を州政府として推進しています。しかしながら、ハリヤナ州の園芸農業は適切な栽培技術のほか、施設園芸、貯蔵施設や収穫後処理施設といったインフラが満足に供給・整備されていないため、生産性及び品質保持の観点で改善が必要な状況です。ハリヤナ州における高収量・高付加価値農業への設備投資も急務であり、IoP (Internet of Plant) をはじめとした高知県の先進的な取り組み、単位面積当たりの園芸産出額日本一という実績に、高い関心が寄せられています。

本招へいでは、右状況を受け、ハリヤナ州において、果樹や野菜等の園芸作物への作物多様化支援、バリューチェーン振興のための施設整備・能力強化等を行うことにより、持続可能な農業の推進及び園芸作物の販売促進による対象農家の所得向上を図り、もって同州の社会経済発展に寄与することを目的とした、JICA事業の形成を狙ったものです。本招へい事業を通じて、日本の技術、知見を相手国機関のハイレベルに理解を頂き、プロジェクトの実施に向けた協議を深めていきます。

詳細の行程は次ページの通りです。通訳、JICA職員も常時同行しておりますので、日本語での質問、インタビューも可能です。

ぜひ ご取材ください！



## 取材可能ポイント

### ①7/25(火)

- ・10:05-10:20 高知県副知事表敬(高知県本庁舎2階 第二応接室(高知市丸ノ内1丁目2番20号))
- ・10:20-12:00 高知県 産業振興計画と農業分野での施策について(講義)(同上)
- ・14:00-15:15 株式会社あさの視察(生産、加工現場の視察、高知県香美市土佐山田町旭町1-5-25)  
※一部取材不可箇所あり
- ・16:30-17:30 高知大学講義(産官学IOP事業について、次世代地域創造センター 2階セミナー室  
(高知市朝倉本町2丁目17番47号))

### ②7/26(水)

- ・8:00-9:00 株式会社太陽(耕運機爪視察、高知県高知市布師田3950)  
※一部取材不可箇所あり
- ・10:15-12:30 JAファーマーズマーケット とさのさと視察兼昼食
- ・13:30-14:30 旭食品視察(流通施設視察、高知県南国市領石246)

### ■プログラム参加者(計17名)

インド・ハリヤナ州農業大臣他計8名、インド総領事館 領事1名、  
JICA事業コンサルタント3名、通訳1名、JICA職員(本部、四国センター)4名

#### 【本件に関する問い合わせ先】

JICA四国 業務課 担当 船越

TEL:087-821-8826/080-7138-9843

email:Funakoshi.Yohei@jica.go.jp

※場所や時間に限りがありますので、  
取材をご希望の方は事前にご連絡ください。